

認知症の進行と対応、サービス種類

認知症は少しずつ進行し、症状が変化していきます。家族や周囲が認知症を理解し、進行に合わせて上手に対応していくことが大切です。

代表的なアルツハイマー型認知症の進行の例(右に行くほど発症から時間が経過し、進行している状態)

※個人差があります

認知機能の段階	発症前	認知症予備軍	認知症はあるが、日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	
本人の様子	野菜作り、田んぼ、車の運転が生きがい・サロン、グランドゴルフが楽しみ	言葉が出にくい 「あれ」「それ」ばかり言う 物を置き忘れる 何かヒントがあれば思い出す	季節に合った野菜が作れない 危なっかしい運転 同じことを何回も聞く 電話の内容を忘れる、約束を忘れる 不安・いらいら 外出が減る	物を盗られた、財布を無くしたと言う 同時に2つ以上のことができない 家事(料理・掃除)等の段取りができなくなる 買い物時のお金の計算が難しくなる 今まで使っていた電化製品が使えなくなる トイレではない場所で排泄する 目的地まで、なかなかたどり着けない	季節に合った服を着ることができない 食べ物以外のものを口に入れようとする 迷子になる 入浴や着替えができなくなる 食べ物をあだけ食べる 尿意、便意を感じにくくなる 歩行が不安定になってくる	会話ができなくなる 表情が乏しくなる 食べ物が飲み込みにくくなる 食べることの理解ができなくなる 日中も眠っている時間が長くなる
記憶面		物忘れの自覚が出てくる	直近のことを覚えられない 体験したことの内容を忘れる	いつどこで何をしたかの出来事を忘れる	過去の記憶も失い、若いころの記憶の世界で生きる	
状況把握			時間や日にちがわからなくなる 自分の年齢が正確にわからなくなる	季節や年次がわからなくなる 場所がわからなくなる	親しい人や家族が認識できなくなる	
家族の思い		さっきとったやん もう忘れたん??	今まではできとったやん なまけとるんやろか 介護のしんどさをわかってほしい 怒ってもあかんのはわかっとるけど優しくできんわ	またやられた もう限界やわ いつまで続くんやろ これからどうなるんやろ	最期をどこでみてあげるのがいいんやろなあ	
生活のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 認知症予防のための生活習慣を心がけましょう →有酸素運動、バランスの良い食生活がポイント! ◎ 地域の行事、ボランティアなどの社会参加や、趣味を楽しみましょう 		<ul style="list-style-type: none"> ◎ 大事なことや出来事をメモに書きとめる →大事なものを片付ける箱を用意する等の工夫をしましょう。 ◎ ゆっくり短い言葉で少しずつ伝える ◎ 時間の見当が付く工夫を →時計や季節感のあるカレンダー。 ◎ できないことを責めない 		<ul style="list-style-type: none"> ◎ 体調管理に注意 →合併症(肺炎や脱水)などが起こりやすくなるので変化を見逃さないように。 ◎ スキンシップを大切に →言葉がでなくなれば手を握る、背中をさするなどスキンシップを心がけ、安心感を与えるようにし 	
ご家族へ	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 認知症の疾患や介護について理解しましょう →違った対応や介護は、本人の症状を悪化させる原因にもなります。認知症を正しく理解し、関わる人がうまく対応することで、穏やかな経過をたどることも可能です。 ◎ 近い親戚家族や本人の親しい友人に病気のことを伝えておきましょう →記憶障害の影響で、約束を忘れたり、電話の用件が伝えられないこともあります。また、病気のことを知らないために、心もとない言葉をかけられ、本人が傷ついている場合もあります。病気であることを理解してもらうことが大切です。 		<ul style="list-style-type: none"> ◎ 介護サービスを利用したり、家族の集いの場等を利用 →薬の管理や入浴、リハビリなど、介護保険制度を利用できます。家族が休息する時間をとったり、ご本人が家族以外の人の介護に慣れておくと、いざと言うときに戸惑わずに済みます。戸惑うような出来事が重なって、家族が最も苦しむ時期です。介護職員の力や経験者の知恵をうまく借り、負担を抱え込まないようにしましょう。 ◎ 今後の生活設計(介護、金銭管理、財産等)についての備えをしましょう 		<ul style="list-style-type: none"> ◎ 認知症が進行した後の心づもりと備えを →最期の時期をどこで迎えるか、延命措置や栄養補給、医療をどの程度行うか、入院するかなどを、本人の視点に立って相談しておきましょう。 	

家事や仕事、趣味などできることもたくさん残っています。得意なこと、できることを生活に取り入れていきましょう!

認知症や介護についてのご相談は...

支援体制

小浜市
地域包括支援センター
☎ 64-6015

小浜市社会福祉協議会
地域包括支援センター
☎ 56-5855

生活支援

安否確認・見守り

金銭管理

介護予防・集う場

家族支援

住まい

医療

①配食サービス ②訪問介護(介護保険・総合事業・有償ヘルパー)
③緊急通報装置 ④SOS徘徊ネットワーク、地域見守り活動
⑤日常生活自立支援事業 ⑥成年後見制度
⑦ふれあいサロン、地区活動 ⑧一般介護予防事業 ⑨通所介護 ⑩小規模多機能型居宅介護
⑪認知症の人と家族の会、認知症カフェ ⑫介護家族者交流会
⑬サービス付き高齢者住宅、高齢者向け賃貸住宅 ⑭グループホーム ⑮介護老人保健施設 ⑯介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
⑰かかりつけ医 ⑱認知症サポート医 ⑲認知症専門病院 ⑳精神科 ㉑訪問看護、訪問診療、居宅療養管理指導

①~㉑についての詳しい内容は裏面をご覧ください